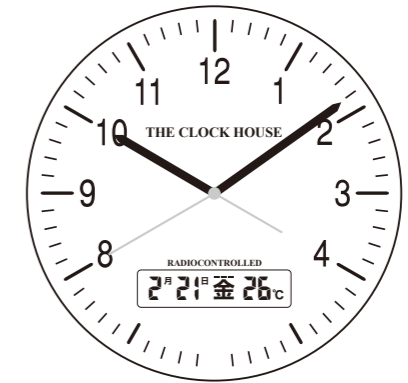


# 電波目覚まし時計 取り扱い説明書

製品型番：THM024



お買い上げありがとうございました。  
ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ、  
正しくお使いください。  
この取扱説明書は必ず保管してください。

■販売元 株式会社ザ・クロックハウス  
■製造元 株式会社リクループ

## 機能

- ・電波受信による時刻修正・カレンダー修正
- ・受信成功から次の受信成功までは内蔵クオーツで作動
- ・電波が受信できない場合の自動時刻/時刻は内蔵クオーツ精度で作動
- ・アラーム：アラーム音は4段階に変化
- ・止めてもまた鳴るスヌーズ機能付き、約2分で止まるオートストップ機能付き
- ・時刻：時・分・秒を表示
- ・カレンダー（2010～2099年まで）
- ・温度計（自動計測）実用測定範囲-9℃～+49℃
- ・-9度以下は「L 0℃」、49度以上は「H 1℃」と表示
- ・バックライト

## 仕様

受信電波	受信電波：日本標準電波 JJY 日本国外では電波時計としては使用できません。海外で使用する場合はクオーツ目覚まし時計としてお使いください。
自動受信	受信周波数：40 / 60kHz（自動選局）
内蔵クオーツ精度	1日最大受信回数7回
アラーム	電子音、約5分間スヌーズ、オートスヌーズ（約2分鳴って約5分間停止）（約40分使用できます。）
アラーム精度	アラーム表示に対して±5分
精度	平均月差±30秒（気温25℃で使用した場合）
作動温度範囲	-9℃～+49℃
使用電池	単3電池×1本（アルカリ電池推奨） ※充電式電池には対応しておりません。機械に不具合が起きる可能性がありますので、使用しないでください。
電池寿命	約1年（アルカリ電池使用の場合）使用状況により異なります。 ※付属で入っている単3電池はモニター用になります。記載の電池寿命より早く切れる場合がございます。
製造国	中国
セット内容	本体、モニター用単3電池×1、取扱説明書

## 故障かな？と思った時

電池を入れ直し、窓際など電波受信しやすい場所に置いてください。上記の方法を試しても正常に作動しない時は、以下の事をお確かめください。

### 時刻が合わない

- ・電波受信が出来なかった可能性があります。電波受信しやすいように時計を窓際などに置いてください。また電波の受信中に時計を移動しないでください。電波が安定して受信されず時刻修正が出来ない恐れがあります。
- ・ご使用中の電池容量が少なくなっている可能性があります。新しい電池と交換してください。

### 初回電波受信後から数日後、数秒のズレの場合

- ・自動受信時刻に電波が受信出来なかった可能性があります。次回の受信時に修正される場合もありますので、数日様子を見てください。
- ・時刻のズレが修正出来ていない場合、電波受信が困難な設置場所と考えられます。その場合は下記のいずれかをお試しください。
  - ①設置場所を変えて電波受信の様子を見る。
  - ②屋外や窓際で手動受信（強制受信）を行う。

### 電波を受信しない

- ・標準時刻電波は保守作業などの為、一時的に送信が止まる場合があります。電波が受信できない場合があります。詳しくは「電波時計について」をご覧ください。
- ・受信が難しい場所に設置している可能性があります。受信しやすい場所で手動受信（強制受信）させてください。裏面、「その他の機能 ●電波を受信できなかった場合」をご覧ください。

### ボタンを押しても操作ができない

- ・電波受信中の場合があります。受信が終了するまでしばらくお待ちください。

### 時計表示がおかしい。電池を入れても受信モードにならない。

- ・電池の＋が正しい向きでセットされているか確認してください。正しい向きでない正常に作動しません。また電池の端子が汚れていますと接触不良になります。端子の表面を拭いて電池を入れ直してください。
- ・液晶の表示がおかしい、止まった状態の時は、裏面の「RESET」と書かれた穴に細く硬い棒状の物でボタンを押してください。内部の表示をリセットし、正常な作動へ復旧します。
- ・ご使用中の電池容量が少なくなっていると正常に作動しません。指定の新しい電池と交換してください。

## 警告

- 誤飲を防止するため、小さな部品や使用済みの電池は速やかに処分、または幼児の手の届かない所に保管してください。万一、飲み込んだ場合はただちに医師にご相談ください。

### ●電池から漏れた液に触れないでください。

- ・目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- ・液漏れしたときは、電池を取り外して、漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

### ●古い電池や新しい電池など、様々な種類の電池を混ぜたり、充電式電池を使用しないでください。

- 時計を長く使わない場合、電池は取り外して保管をしてください。万一、電池を入れたままにしておきますと、古い電池から液漏れが発生し、故障の原因や周囲の物を傷めたり、汚す恐れがあります。

- 付属のモニター電池は工場出荷時より入っている為、早く切れる事があります。電池は製品仕様に表示した寿命よりも早く切れる事があります。この電池は保証対象外となりますので、その場合は新しい電池をお買い求めください。

### ●電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために次のことを守ってください。

- ・電池をショートさせない。
- ・電池を充電しない。
- ・電池に傷をつけない。
- ・電池を分解しない。
- ・電池を加熱しない。
- ・電池を火の中に入れてない。

## 受信時の注意

### 受信しやすい場所

- ・電波発信塔の方向にある窓際（受信範囲図参照）
- ・近くにビルや高圧線・鉄骨・鉄筋コンクリートの建物が無い窓際
- ・家電製品から離れた設置場所
- ・照明器具、パソコンおよびモニター・エアコン・冷蔵庫・電子レンジなどから離れた場所

### 設置場所で受信が困難な場合の対処法

- ・設置場所を移動して様子を見て下さい。上記「受信しやすい場所」をご参考ください。
- ・屋外（ベランダ等）で強制受信をしてみてください。方法は、裏面「その他の機能 ●電波を受信できなかった場合」をご覧ください。
- ・電波受信が成功したら、もとの設置場所へ戻して下さい。
- ・電波受信状況は時間帯などにより若干変化します。受信条件に問題なければ、電波を受信することが可能です。
- ・また、電波を受信できなかった場合も、時計に内蔵されたクオーツ時計で作動しますので使用は可能です。

### 安定した受信のために

- ・昼間は、家電や携帯電話などから発生するさまざまな雑電波が多い為、受信しやすい窓際や安定した強い電波を受信出来る場所・時計の向きを見つけて、その場所に時計を設置してください。
- ・また、受信中は時計を動かしたり、ボタン操作は行わないでください。受信しない場合は、夜間1度電池を外し、再び電池をセットして朝まで窓際に置いて様子を見て下さい。
- ・夜間は電波状態が良くなる為、受信の成功率が高くなります。

### 受信が難しい場所

- ・車・電車・飛行機など乗り物の中
- ・山間部やビル等で電波が遮断される場所
- ・※高圧線・変電施設・工事等の高出力電力等が発生する施設等が近くにある等
- ・鉄筋コンクリート素材のマンションで中央部のお部屋
- ・電化製品に近い場所での設置（照明器具・パソコンおよびモニター・エアコン・冷蔵庫等）
- ・使用中の携帯電話の近く
- ・極度の高温または低温の状況下
- ・設置場所から送信所方向に電波の妨げになる障害物がある場所
- ・悪天候（雪・台風・雷等）
- ・ケース・引き出し等の中

## 注意 必ずお守りください。

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください。ここに示した注意事項は、ご自身や他の方への危害や損害を未然に防ぐためのものです。

- ・リセットボタンの長押ししないでください。「1回・1秒程度」とし、長押しは故障の原因となります。
- ・電池の＋を確かめ正しく入れてください。逆向きに入れると液漏れや発熱の原因となります。
- ・強い振動がある場所、不安定な場所には置かないでください。故障や破損の原因になります。
- ・強い衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。
- ・浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所で使わないでください。さびや故障の原因になります。
- ・濡れた手で触らないでください。故障や破損の原因になります。
- ・分解や改造をしないでください。けがや破損の原因になります。

- また、下記のような場所では使わないでください。  
性能の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。
- ・直射日光が当たる所
  - ・暖房機器などからの風が直接当たる所
  - ・火気のそば
  - ・温度が+50℃以上の所
  - ・温度が-10℃以下の所
  - ・ほこりが多く発生する所
  - ・強い磁気を発生させる機器のそば
  - ・車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所
  - ・プールや、温泉場などガスの発生する所
  - ・調理場など多くの油を使用する所
  - ・ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

## 電波時計について

### 電波時計とは

電波時計は正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

### 標準電波とは

標準電波（JJY）は、日本標準時（JST）をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。  
※標準電波の時刻情報はおよそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。  
標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2ヶ所あります。標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。（http://jij.nict.go.jp）

### 標準電波時計の送信停止について

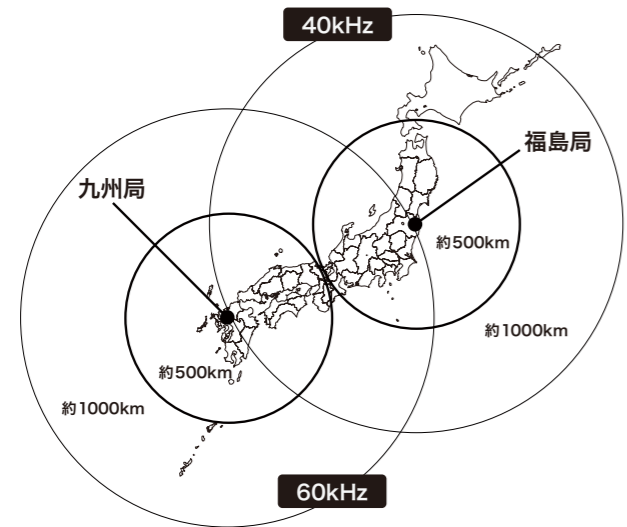
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については、「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

### 海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でご使用になるときは、クオーツ目覚まし時計としてご使用ください。

## 電波の受信範囲について

送信所から約1000km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信可能範囲であっても電波障害（季節・天候・置き場所・時間帯（昼・夜）など）や地形・建物の影響などにより受信できないことがあります。



### ■電波の受信について

- ・受信中の時計は動かさないでください。
- ・受信が終了するまでに約16分かかります。
- ・受信中はボタン操作をしないでください。
- ・受信が正常に終了しているのに正しい時刻が表示されない場合は、受信中にノイズ等の影響により正しく設定されていないことが考えられますので、場所を変えて再度受信を行ってください。

## その他のご注意

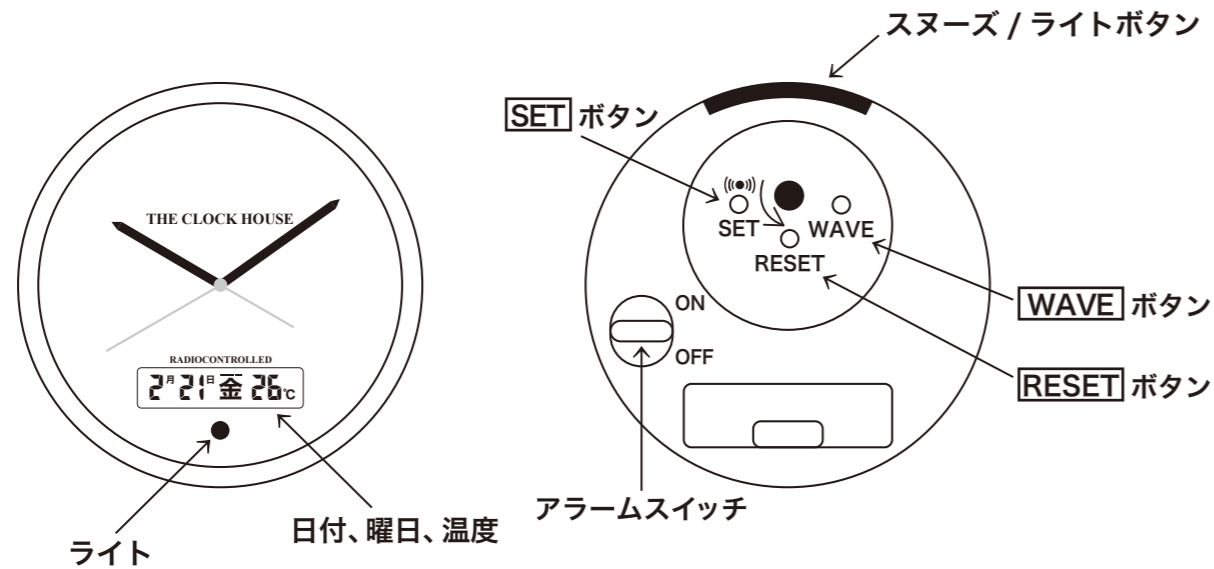
### お手入れについて

- 汚れがひどい場合には、水で薄めた中性洗剤や石けん水を、柔らかい布に少量つけてふき取り、その後、乾拭きしてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー、ブラシ等は、使用しないでください。変色・変形の恐れがあります。

### ウェルドラインについて

本体のプラスチックは溶けた状態で金型に流し込んで成型されます。その為、金型の中で溶けたプラスチックが重なった部分が残ることがございますが、キズなどの不良品ではございませんので、安心してお使いください。

## 各部名称



- RESET ボタン  
受信を開始し、自動的に現在の時刻にあわせませす。
- SET ボタン  
手で時間を合わせる時に使用します。
- WAVE ボタン  
電波を強制的に受信させ、時間を合わせませす。
- アラームスイッチ  
アラームを鳴らす・鳴らさないの切り替えができます。
- スヌーズ/ライトボタン  
スヌーズ機能とライトを使用できます。

## ご使用方法

- 電池を入れてください。(単3アルカリ乾電池1個)  
①手前に引いて裏蓋を開けてください。  
②電池を入れてください。  
+をまちがえないようにご注意ください。
- RESET** ボタンを先端の細いもので押してください。  
受信を開始し、自動的に現在の時刻にあわせませす  
・時分秒針が早送りで「12時の位置」で停止し、電波受信を開始します。  
・受信に要する時間は、最長で約16分です。  
  
【受信に成功した場合】  
自動的に時分秒針を現在の時刻に合わせませす。  
液晶部に日付・曜日・温度を表示します。  
  
【受信できなかった場合】  
時刻を修正しないで12時から針が動き出します。  
右記「その他の機能 ●電波を受信できなかった場合」にしたがって場所を変えて再度受信させてください。または、手動操作で時分針を現在の時刻に合わせてください。  
※液晶部は温度を表示し、受信に成功するまでは日付・曜日を表示しませせん。  
※電池交換後は、必ずRESET ボタンを押してください。
- 時計を置いてください。  
本機を使用したい場所に置いてください。この際、窓際などでできるだけ電波を受信しやすい場所に置いてください。
- アラーム時刻をセットする  
つまみを必ず半時計周りに回し、アラーム時刻を合わせてください。  
・アラーム時刻は10分間隔で合わせる事ができます。  
※つまみを逆方向に無理に回さないでください。破損する恐れがあります。

## アラームについて

- 設定した時刻にアラームを鳴らす機能です。
- アラームを鳴らす**  
アラームスイッチをONにしてください。  
アラームスイッチをONにすると、秒針が「12時の位置」で停止します。  
※秒針が停止している間でも、時分針は正しい時刻を表示します。  
※リセット後の受信中は、アラームが鳴りませせん。
- アラームを止める**  
アラームスイッチをOFFにしてください。  
※アラームスイッチをONにするまではアラームは鳴りませせん。
- スヌーズ機能を使う**  
スヌーズ機能とは、鳴り出したアラームを止めても数分後に再び鳴る機能です。2通りの方法があります。
- スヌーズ/ライトボタンを押す  
アラームが止まり、約5分後に再び鳴り出します。
  - 鳴っているアラームをそのままにする  
アラームは約2分間鳴り続け、約5分間の停止を繰り返します。
- ※①・②の機能はアラームスイッチをOFFにしない限り、約40分間使えます。なお、アラームスイッチをOFFにしないと、12時間後のアラーム設定時刻に再びアラームが鳴ります。

## 液晶部の表示について

●リセット後、電波受信に成功すると液晶部分は日付・曜日・温度を表示します。



- ※1 電波の受信状況表示は3本ラインで受信可能という意味となります。  
※2 電波を受信できるまでは、液晶部分は温度のみを表示します。  
(手動で時刻を合わせた場合、電波を受信するまでは温度のみを表示します。)
- 日付の設定はできません。
  - 気温が-9℃より低いときは「L0℃」、+49℃より高いときは「HI℃」を表示します。

## 保証について

- 次のような場合は、保証期間内でも有料修理となりますので、ご注意ください。
- 保証書のご提示がない場合。
  - 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
  - お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
  - お客様のお手元に渡ってからの取扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
  - 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障または損傷。
  - お客様による修理・改善などが原因で故障した場合。
  - ご使用中に生じる外観上の変化(ケース・ガラスなどの小キズ)
  - 電池の交換

## 保証書

取扱説明書にそった正式な使用状態において、万一、保証期間内に故障がおきた場合は、本保証書を添えて時計お買い上げの販売店にご持参ください。無償で修理・調整をいたします。  
なお、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。  
この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ、大切に保管してください。  
保証書は再発行いたしません。

※型番

※保証期間 お買い上げ 年 月 日より1年間

お客様情報 氏名 様

ご住所

お電話番号 ( ) -

※販売店(住所・店舗名・電話番号)

※印は販売店が記入

- この保証書は国内のみ有効です。
- ご記入いただきました個人情報、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。
- 販売店の方へ  
この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

## その他の機能

- 受信結果について  
WAVE ボタンを1回押す(2秒以下)とライトが受信結果を表示します。
    - ・点滅(3回) : 受信に成功しています。
    - ・点灯(約3秒) : 受信できていません。
    - ・消灯 : 受信中または自動受信機能がOFFです。
  - 自動受信について  
毎日7回、自動で電波受信を行ないます。  
受信に成功すると現在表示している時刻を修正します。  
・午前2、3、6、10時、及び午後2、6、10時の各16分に受信を開始します。  
※自動受信のとき、秒針が「12時の位置」に停止することがあります。
  - 電波を受信できなかった場合  
1. 電波を手動で受信させ、時刻を合わせる  
WAVE ボタンを約3秒間押し続けてください。  
針が早送りをして、「12時の位置」で停止し、受信を開始します。  
受信に要する時間は、最長約16分間です。  
・受信中は針が停止します。  
・受信できなかった場合、針は元の時刻に戻り動き出します。場所を変えてもう一度受信させてください。  
・詳しくは裏面「電波時計について」等をご覧ください。また、夜間は屋間にくらべて受信状態が良くなりますので、屋間に受信できなかった場合でも翌日までに自動受信できる場合があります。
  - 2. 手動で時刻を合わせる  
電波を受信できない場合は、手動で時刻を合わせることができます。  
①SET ボタンを3秒以上押し続けてください。手動時刻調整モードに入ります。  
②SET ボタンを1回押すと、分針を1分送り、押し続けるとボタンを放すまで送り続けます。  
※SET ボタンを押されている間は秒針が停止し、放すと動き出します。  
③約6秒以上 SET ボタンが押されなかった場合、自動的に手動時刻調整モードが終了します。※日付・曜日の設定はできません。
  - 自動受信を止めるには  
この時計には自動受信を止める機能があります。  
誤受信の防止や海外でご利用の場合など、設定時刻をずらしてお使いになりたい場合にご使用ください。  
WAVE ボタンと SET ボタンを同時に約5秒間押し続けてください。  
秒針が早送りします。  
・秒針が「2時の位置」で停止 : 自動受信機能 ON 状態  
・秒針が「10時の位置」で停止 : 自動受信機能 OFF 状態
  - 操作を繰り返すと ON⇄OFF の設定が切り替わります。  
※リセット後は自動受信機能がONの状態です。  
※電波受信中は、設定ができません。  
※OFFの状態では、受信結果の表示や手動による受信はできません。  
時刻を合わせる場合は、左記「2.手動で時刻を合わせる」に従ってください。
  - ライトについて  
スヌーズ/ライトボタンを押すとライトが点灯します。  
約5秒後に自動的に消灯します。  
※多用すると電池寿命が短くなります。
  - 温度計について  
温度計は、-9℃~49℃までの計測が可能です。  
※温度計で計測できない数値は下記のように表示します。  
  
温度 計測可能範囲より低い→LO  
計測可能範囲より高い→HI
- 電池を入れると自動で温度を計測し、表示します。

この取扱説明書の内容は予告なしに変わることがあります。印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が、実際の表示と異なる場合があります。この時計によって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。